

加工技術追及によるコストダウンと積極的な営業・改善活動を！

企業紹介

小山製作所

- 代 表 者： 小山 高
- 所 在 地： 佐久市望月1430-8
- 従業員数： 5名
- 事業内容： 金属製品製造業
- 連 絡 先： 0267-53-2557

昭和45年創業の旋盤による金属製品製造業



今回の測定に使用した表面粗さ測定器

上席専門経営支援員
渡辺 稔



支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

小型モータやセンサーなどの産業機器部品の量産加工をしている企業の事業主から、顧客からの継続的な価格ダウン要求に対していろいろな改善をして対応してきたが、コスト追従が困難となってきた。また、部品製造の海外展開化による安定受注量の減少という状況となっており、以下の課題について商工会に相談があった。

<課 題>

- 1 加工技術改善によるコストダウンを図りたい。具体的には、特殊加工の工具寿命が短く、このコストに占める割合が多いため、工具の寿命を長くしたい。
- 2 新規受注の確保。

■実施した支援内容

- 1 工業技術総合センター加工部への技術相談を提案・実施し、現状の基本加工条件の評価と工具寿命延長につながる可能性のある各種情報（チップ、ホルダー、切削液とその供給方法）の紹介をいただき、私の調査情報と合わせて改善取組項目の選定を行った。また、工具寿命判定の基準を、表面粗さと形状を目視で評価し設定していたが、その合理性の確認を提案し、工業技術総合センターの測定器にて数値化し、要求規格に対してのマージンを明確にした。
- 2 新規受注の確保に向け、次のような積極的な営業活動を提案した。
 - (1) 納品を社員に任せていたが、自ら訪問して顧客とのコミュニケーションをとり、顧客の課題と今後の予定や最終製品の市場動向を把握し、事業経営に活かす。
 - (2) 顧客はもちろん、同業者・支援機関等との接触を積極的行い、情報収集等の機会を増やす。その一つとして、中小企業振興センターの受発注取引事業の活用を提案し、相談・登録を行った。

支援の結果及び今後の展開等

- 1 当社の基本的な加工条件の適切性が確認できた。また、工具寿命延長に向けて、選定した取組項目により、その可能性が見えてきた。更に、表面粗さの要求規格に対してのマージンを明確にでき、工具当たりの加工数を増加できる可能性があることがわかった。これらにより、改めて改善への取組を開始するきっかけとすることができた。
- 2 新規受注獲得に向けて、営業活動の重要性を改めて認識し、また、中小企業振興センターへの相談・登録ができ、受注の機会を得るための間口を広くすることができた。
- 3 同社の特徴・強みは、加工技術向上を追求してコスト競争力向上へとつなげて行けることであることが確認できた。事業主は自ら実務作業を行っており、情報収集や条件選定等の時間と費用の捻出が難しいが、そのような状況の中でも積極的な改善活動を継続的にやっていくことが重要であることを確認できた。

支援を受けて

個人事業のため自分一人で進めてきたが、今回の相談を通して第三者の意見や進め方に触れ、改めてその必要性を感じました。具体的には、加工条件にはまだ改善余地があり、そのいくつかに挑戦して10%ほどの工具延長と加工時間短縮の効果があり助かりました。今後も継続的に課題解決と改善を進め、事業拡大に努力していきます。

